

副校長より

先日の学芸会では、2日間で924人の方にお越しいただきました。ありがとうございました。一人一人の子供たちが各自の役割を立派に果たすとともに、思いきり自分の役を演じることができました。子供たちにとって心に残る学芸会となりました。感謝申し上げます。

さて、今月は「家庭と学校での子供を見る見方の違いについて」考えてみたいと思います。家庭と学校で子供を見る視点は違うのではないのでしょうか。この視点を理解していないと、両者の食い違いに結び付くことがあります。学校では、集団の中で生活することを通して子供たちの成長を促すところに最も大きな特色があります。保護者の方から「家では何も問題はないのですが、学校ではどうしてトラブルになるのでしょうか?」と相談されることがあります。子供は、集団の中に入ると他者からの刺激を受けます。子供が何人か集まって、集団で行動していると思いがけないことが起こります。思春期になると要注意であり、大人は子供との距離を適切に保ちながらも、目を離さずに温かく見守っていくことが大切です。他者から刺激を受けながら学習をしていくので、互いの力を高めながら成長していきます。したがって、ここに学校の存在価値が問われてくるのです。子供が将来成果を出すための能力、挨拶等のコミュニケーション、基本的な生活習慣、体力・・・、様々なことが子供たちの能力育成に結び付きます。子供の将来を考えたときに、何が重要であるのかを考え、家庭での子供への接し方を吟味していくことも大切だと考えます。その子に今必要とする環境は何かを、保護者の方と学校と一緒に考えていくことで、子供の将来への展望が開かれてくるのではないのでしょうか。

学びの部屋 ～1年生～「落ち葉拾い」「タブレット授業」

現在生活科では、「あきとふれあおう」という授業を行っています。実際に公園へ行って秋を見付けてみよう、ということで、11月24日(金)落ち葉拾いに、芝公園に行きました。「いろいろな色の落ち葉があるね」などと話しながら、子供たちは秋を見付け、秋とふれあうことができました。



今後はこの拾った落ち葉やどんぐりを使って飾りやおもちゃを作り、遊ぶ活動しようと考えています。

野田 麻祐子

国際科の授業では、Body Parts の学習をしています。この学習の最後に、タブレットを用いて動物の体の一部をクイズにしたり、カメラ機能を使って体の部位を写真で撮ったりしたものを示したりしています。1年生なりにタブレットを上手に使いながら英語に親しんでいます。野田 麻祐子



学びの部屋 ～4年生～「手と心で伝えよう」「理科 実験の様子」

総合的な学習の時間で「手と心で伝えよう」に取り組んでいます。これは、国語科で取り組んだ「点字」の学習を発展させたもので、障害者への理解を深めるだけでなく、生活の中で自分たちでもできることを考えて実行するものを目指しています。

先日は「白杖」についての話を聞き、実際に白杖を使った歩行を体験しました。今後は「盲導犬」や、「手話」についても体験します。子供たちが「皆が住みやすい社会とは何か」「そのためには自分たちには何ができるのか」を真剣に考えられるように指導していきます。

石嶋 賢



理科では、火を取り扱う本格的な実験を行うようになりました。初めは怖がっていたガスコンロの操作にもだんだんと慣れてきました。

物の温まり方の実験では、サイエンスアシスタントの小日向 武先生と一緒に、水・金属・空気はどのように温まっていくのかを予想を立ててから実験を行いました。予想と違う実験結果に驚いている子もいました。

これからも「なぜ?」「どうしてそうなるのか?」を実験を通して明らかにしていく学習に取り組んでいきます。

高橋 さや香



今月のミニコンサート

- 3-2 小西 由利子 ピアノ独奏 「タランテラ」
- 1-1 日坂 華子 久我 渚 林田 笑莉 森田 希音
歌と鍵盤ハーモニカとピアノ 「アロエツェ」
- 3-2 児玉 智望 竹上 和磨 平野 友貴 山田 優斗
リコーダー 「ミスタードラマン」
- 3-2 柴山 美結 ピアノ独奏 「ガヴォット」
- 3-2 鈴木 千咲登 中島 和音 リコーダー二重奏 「あの雲のように」
- 5-1 鈴木 愛乃 ピアノ独奏 「エリーゼのために」

